

第4章 施策目標の設定

各基本理念において以下のとおり施策目標を設定します。

1 まなぶ、そだてる ～地域福祉の担い手づくり～

目標設定の考え方	施策目標	数値目標	
		現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
サロンの主催者、参加者ともに地域住民であることから、活動への主体的参加・利用の両方の参加を促進する。	ふれあい・いきいきサロンの参加者数 (延人数)	43,428人 (令和元年度※1)	44,785人

※1 令和2年度のふれあい・いきいきサロンの参加者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で参加者数が減少したため、前年の令和元年度の値を基に目標値を設定。

2 つなぐ、ささえあう ～安心して生活できるしくみづくり～

目標設定の考え方	施策目標	数値目標	
		現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
民生委員・児童委員を介して地域住民の困りごとを把握し、必要な支援を行うことで、生活の改善を支援する。	相談を受けて支援につなげた件数	5,021件	5,100件
富士市で、希望する人数の子どもを産み、育てられる支援体制や市民の意識を醸成する。	希望出生率※2	1.77 (令和元年度※3)	2.0
今後も増え続ける要配慮者の把握及び見守り体制構築を進める。	災害・緊急支援情報キット（災害支援キット）の利用者数	6,396人	6,900人
地域の福祉活動を担う地区福祉推進会について、より多くの市民に知ってもらう。	地区福祉推進会を知っている人の割合	37.5% (令和元年度※4)	50% (令和7年度※4)

※2 若い世代における結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなうとした場合に想定される出生率。国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」で把握した結婚や子どもの数を基に、一定の仮定に基づき算出した値。国の目標値は1.8（少子化社会対策大綱（令和2年5月））

※3 把握が可能な最新のデータとして、令和元年度の実績値を掲載。

※4 計画策定の前年度に市民アンケート調査を実施。

3 きずく、ひろげる ～自立した地域生活を支えるしくみづくり～

目標設定の考え方	施策目標	数値目標	
		現状値 (令和2年度)	目標値 (令和8年度)
要介護のリスクがある高齢者に対して、介護予防事業等への参加を促し、高齢者の健康的・活動的な生活を支援する。	要介護認定を必要としない高齢者の割合	88.57%	87.19%
障害福祉サービスの支給決定者に対して、本人の状況や希望に即したサービスを提供し、地域で自立した生活の確立を支援する。	障害福祉サービス等を利用して地域で生活している人の人数	2,088人	2,754人
経済的に困窮している市民に対して、本人の状況や希望に即した支援計画を作成し、自立した生活の確立を支援する。	生活困窮者自立支援制度を利用して支援計画の目標を達成した人の割合	69.1%	72.4%